

質問

雪国観光圏域の一体感醸成のため 自転車レース『ツール・ド・雪国 観光圏（仮称）』はどうだろう



岸野 雅人

答 弁 良いことと思う
雪国観光圏戦略会議で
提案検討を試みる



ブランド観光地域
を目指す雪国観光
圏事業

問 雪国観光圏は、主に民間の努力を中心に、日本で6か所のブランド観光圏を目指しているところと理解している。平成26年度から追加となる事業はあるか。

答 ブランド確立事業の主体は、『一般社団法人雪国観光圏』、それを支援するのが、7市町村で構成する『雪国観光圏推進協議会』。26年度から、これらをつなぐ議論の場として『雪国観光圏戦略会議』を設置し、事務局員1名を産業観光課に置き、事

業の推進を図っていく。

問 雪国観光圏内の一体感醸成のため、新三国トンネル開通に向け、観光圏内2泊3日程度の自転車レース開催の可能性を探ってはいかがだろうか。

答 5年後ぐらいの新三国トンネル開通と、雪国観光圏域の活性化を考えると、公道を利用し自治体をまたぐイベントの開催は、7市町村が目的と意識を共有し、数年間かけて官民揃って準備を進めることになり、意義深いと思う。

特にみなかみ町との17号三国峠越えは、名物コースともなる。さらに、観光圏を推進する観光庁は国土交通省と同じビル、国道17号線の路面やトンネルの改良にもつながるかもしれない。

5年後ぐらいの新三国トンネル開通と、雪国観光圏域の活性化を考えると、公道を利用し自治体をまたぐイベントの開催は、7市町村が目的と意識を共有し、数年間かけて官民揃って準備を進めることになり、意義深いと思う。

職員も1人置かれることだし、仮称『ツール・ド・雪国観光圏』、話し始める意味があると思うが、いかがか。

答 良いことであると思うので、構成員の皆さんに提案し、事業を実施できるか研究する。

ブランド確立事業で実施できるか、雪国観光圏戦略会議の中で検討してみる。

その他の質問

- 将来の医療体制を考えるべきではないか
- 技術系の職員が必要ではないか
- 企業など、有益な提案を受け入れられる環境整備を